

ほっかわおんせん
海岸沿いを中心とした北川温泉エリア

歴史や風情を感じながら散歩できるムーンロードのまち



①歴史や風情を堪能できる温泉街



②ムーンロードと観光が融合する温泉街

所在地	東伊豆町奈良本
面積	約600m ²
施設	ねこさい広場、黒根岩風呂、築城石公園等
アクセス	伊豆北川駅から徒歩5分

地形

大部分を急峻な地形が占めており、少ない平地部である海岸沿いは景観形成において北川温泉の中心部分となっている。

歴史

江戸城の石垣となる築城石を切り出すための拠点とされていた。また、北川漁港では定置網漁が盛んに行われ、漁村として発展してきた。

観光

稲取、熱川に次ぐ温泉地。
北川温泉の入口には、海から0mの波打際に黒根岩風呂という露天風呂があり、水平線に浮かぶ伊豆の島々を眺めることができる。

2 対象エリアの位置図



2 エリア図



①歴史や風情を堪能できる温泉街

(1)歴史



北川温泉は漁村の風情が残っており、東伊豆町では唯一定置網という手法で漁業を行っているのが特徴です。

歴史的には江戸城の石垣となる築城石を切り出すための拠点とされておりました。この築城石をシンボルとした築城石公園があり、観光客や北川区民の憩いの場としても利用されているため、適正な管理や整備が必要です。

(2)海岸沿いを中心とした風情が感じられる町並みの景観形成



当該エリアは大部分を急峻な地形が占めており、少ない平地部である海岸沿いは景観形成において北川温泉の中心部分となっています。

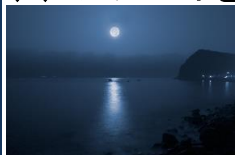
今後は北川温泉の玄関口として、案内看板や歩きやすいルートの整備など観光客が立ち寄りやすく、誰もが快適に散策できるような環境づくりが必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・国道135号や伊豆急行伊豆北川駅から温泉街にかけての案内の不足・不揃いなサイン
- ・歩車混在によりゆっくり安心して散策するための安全性の不足
- ・散策途中にゆっくり休憩できるスペースの不足
- ・築城石公園では、観光客と北川区民の憩いの場づくりが必要
- ・景観と防災を両立させた観光地域づくり

②ムーンロードと観光が融合する温泉街

(1)ムーンロードを中心とした景観形成



満月の前後数日間、海面に月あかりが描き出す月の道「ムーンロード」が現れます。ムーンロードは日本百名月に認定され、商標登録もされており、北川温泉を代表する観光資源です。ムーンロードの景観を損なわないためにも、街路灯等の配慮が必要です。

(2)観光



漁の安全を祈り、大漁を祝い、海に感謝を捧げるため、4月、5月の毎週日曜日をねこさいの日とし、定置網で港に水揚げされた新鮮な魚、イカなどをその場で炭火焼きにして振る舞います。

温泉街と港の中間地点に位置するねこさい広場の整備により、当該地区の回遊性の向上やムーンロードを楽しむための空間整備が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・ムーンロードの景観を邪魔する街路灯の明かり
- ・隣接する温泉街と港の動線が悪く一体感がない
- ・観光客と北川区民が交わる場所として、「ねこさい広場」をゆったりくつろげる空間とする必要がある
- ・樹木や花などでのおもてなしが必要
- ・北川温泉やムーンロードの認知不足

歴史や風情を感じながら散策できるムーンロードのまち

地域住民の視点

- ・おもてなしの空間づくり
- ・景観ポイントの整備
- ・海への景観が魅力
- ・モダンな雰囲気統一されている
- ・集客施設の整備

有識者の視点

- ・漁業への影響やムーンロードの景観を損なわない照明整備
- ・周遊ルートのご案内
(案内看板の充実・多言語化等)
- ・老若男女問わず歩けるルートや動線

目標1

歴史や風情を感じながら散策できる海岸沿いの景観を活かしたまちづくり



目標2

観光資源であるムーンロードの景観を活かした空間づくり



景観づくり方針

- ①誰もが北川の歴史や風情を感じながら快適に散策できる景観づくり
- ②観光客が歩きやすく、道に迷わない環境づくり

景観づくり方針

- ①ムーンロードと観光が融合した場づくり
- ②観光客も住民もくつろげる環境づくり

歴史や風情を感じながら散策できるムーンロードのまち

目標1 歴史や風情を感じながら散歩できる海岸沿いの景観を活かしたまちづくり

方針1-① 誰もが北川の歴史や風情を感じながら快適に散歩できる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	①温泉街の風情にあった、ムーンロードの景観を妨げない 街路灯の整備【色彩及びデザインはそれ自体が目立つ ものとなっていない】	●町(観光産業課)
中・長期	②観光客の拠点となる施設の整備 ③海岸沿いの遊歩道整備 ④観光客や住民が利用できる休憩スペースの整備	●町(観光産業課) ●町(建設整備課、観光産業課) ●町(観光産業課)

方針1-② 観光客が歩きやすく、道に迷わない環境づくり

	取組み	実施主体
短期	⑤通年使用できる観光マップの作成、多言語化 ⑥看板に関するルールづくり ⑦案内看板の充実・多言語化【設置の際には眺望を遮らない】	●北川温泉旅館組合 ●町(建設整備課) ●町(観光産業課)
中・長期	⑧観光案内機能を充実させた駅舎の整備 ⑨観光客の動線を意識した統一性のある案内看板の整備	●伊豆急行 ●町(観光産業課)

目標2 観光資源であるムーンロードの景観を活かした空間づくり

方針2-① ムーンロードと観光が融合した場づくり

	取組み	実施主体
短期	⑩ねこさい広場整備に関する基本計画の策定【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとなっていない、眺望を遮らないよ う工作物等の配置・形状を工夫する】	●町(観光産業課)
中・長期	⑪ねこさい広場の整備 ⑫ベンチの改修、設置 ⑬築城石公園の再整備(トイレ、遊歩道、駐車場等)	●町(観光産業課) ●北川温泉旅館組合 ●町(観光産業課)

方針2-② 観光客も住民もくつろげる環境づくり

	取組み	実施主体
短期	⑭北川の景観を発信する取組 ⑮施設の適正管理の継続	●町(観光産業課)、地域住民 ●町(観光産業課)、北川温泉旅館組合
中・長期	⑯観光地における景観と防災を両立させたまちづくり ⑰旅館組合と連携した樹木・花などの整備・保全	●町(観光産業課、防災課) ●町(観光産業課)、 北川温泉旅館組合

7 景観施策のイメージ図

